

総務文教常任委員会

平成25年12月11日(水)午前10時～
全員協議会室

1 開議

2 事務局日程説明

3 議案審査

(1) 第37号議案 亀岡市における京都府の専用球技場のための亀岡駅北用地無償提供についての住民投票に関する条例の制定について

< 参考人意見聴取～執行部説明～質疑 >

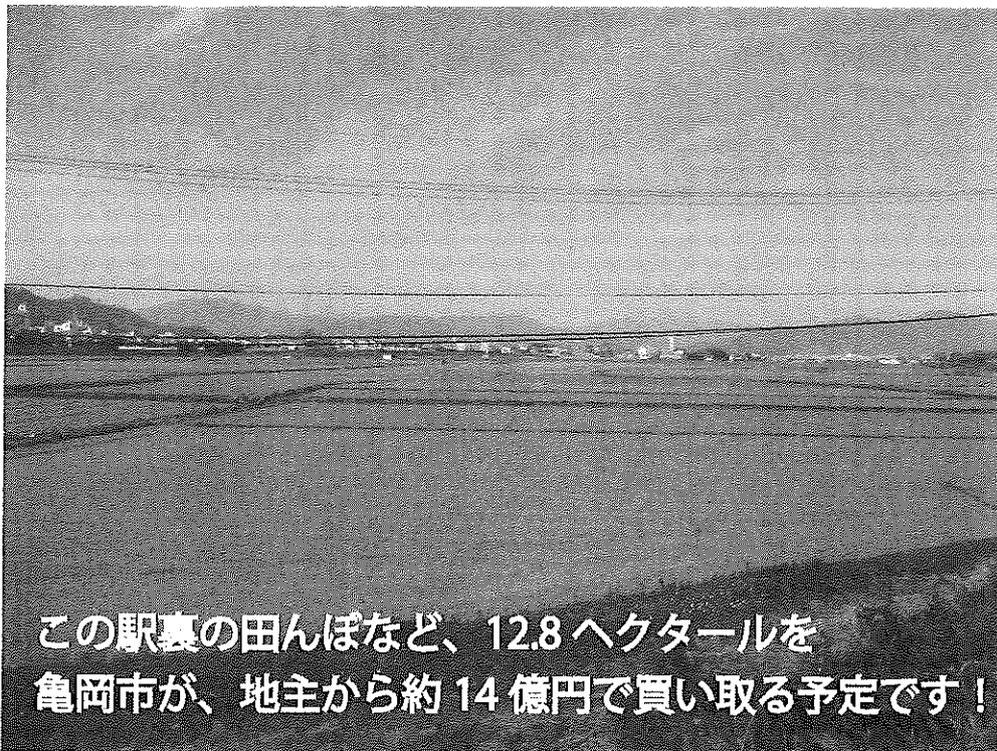
4 討論～採決

5 請願審査について

(1) 受理番号3番 「京都スタジアム(仮称)」建設推進に関する請願

6 その他

1. この土地を買ったら、 将来、市民の負担（借金）が増える？



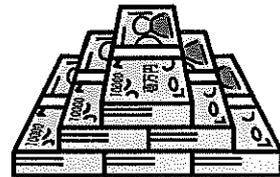
この駅裏の田んぼなど、12.8ヘクタールを
亀岡市が、地主から約14億円で買い取る予定です！

亀岡みらいづくり隊かわら版
もっと知りたいスタジアム



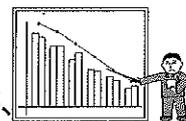
市民の声①気になる・・・高額な地代？

亀岡市は、スタジアムのための土地を無償提供するため、
地権者から購入するとしているが、実勢価格の何倍もの額が提示されようとしている。
高額の土地購入費が負債（将来へのツケ）となって、市民生活にのしかかるのではないか。



市民の声②どんどん貯金が減るの？

主要3基金（貯金）の残高は、平成16年度には55億3000万円あったものが、
今は残高18億1400万（見込み）に。
貯金はわずか18億円と、とても心細い状況で、
さらにスタジアムのために何億という支出をしたツケは誰が支払うことになるのか？



市民の声③また、借金が増えるの？

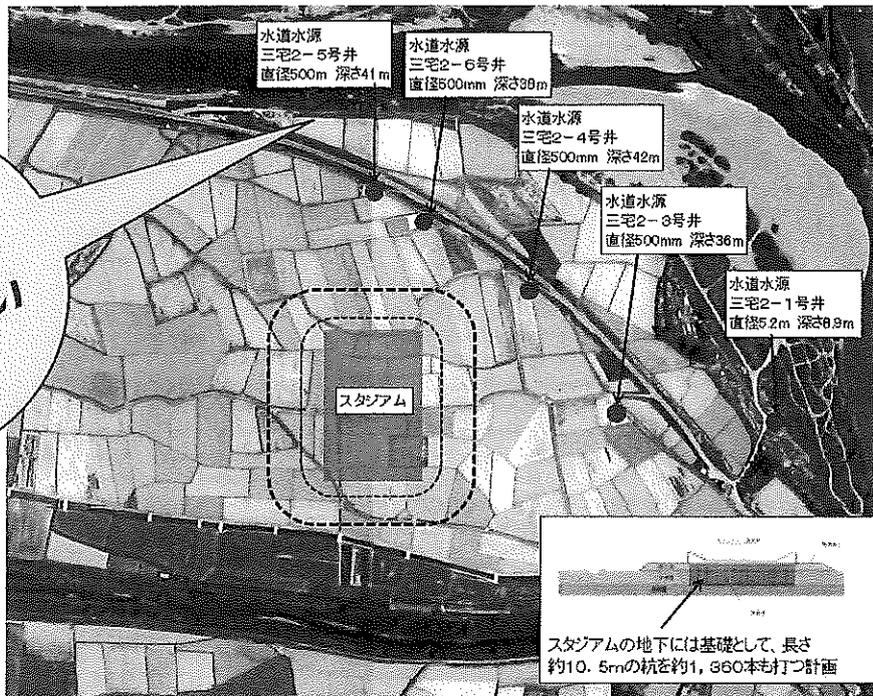
亀岡市が必要とするお金（予算＝一般会計＋特別会計）は、ここ数年、おおよそ年600億円。
収入が足りないため、貯金を切り崩し、借金をしてしのいでいる。毎年どうしても必要な支出（経常収支比率）が使い道の91.2%を占めているため、節約も限界で、新しく何かを始めることも難しい状況。

亀岡市の借金（臨時財政対策債含め）は、平成23年度376億円、24年度406億円、さらに平成25年度は39億7000万円市債を発行。結果、借金は415億1000万円。これは平成16年度の393億円から平成21年度には350億円まで減っていたものがまた増加してきている。



2. 水源地のすぐそばに杭を打つことで、 水道水に影響は出ないの!?

＜スタジアム建設は地中に約 10.5m の杭を約 1,360 本打ちこむ計画＞



近くには、
水源がいっぱい
あるよ!!

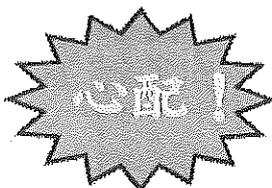
厚生省の「おいしい水研究会」で「おいしい水道水」に選ばれたほど、

「おいしい水道水」が自慢!

★亀岡の水が美味しい理由は!?

亀岡の水道水は、豊かな自然がはぐくんだ地下水を水源としているからなんです。保津川沿いに深さ40m付近まで井戸を掘り、地下水をくみ上げ、亀岡市内に2ヶ所ある浄水場で浄化処理されています。

※厚生省（現在の厚生労働省）の「おいしい水研究会」は昭和60年4月「水道水のおいしい都市」として全国10万人以上の都市198市の中から32市を発表。



スタジアム計画地のすぐ近くに（一番近いもので100mもありません）5本の水道の水源（井戸）があります。これは亀岡市水道の2箇所の浄水場の内、三宅浄水場の水源（井戸）となっています。これらの井戸の深さは、1本が8.9mと浅く、4本は約40m程度です。そのすぐ近くに杭を打つことによる影響は、想定できません。

亀岡市→→三宅上水場系水源影響調査
（その費用は、1700万円!!）

3. 亀岡にわずかに生息する、天然記念物「アユモドキ」守りたい!!



環境省は絶滅の恐れがもっとも高い絶滅危惧ⅠA類に位置づけ、種の保存法に基づき国内希少野生動植物種に指定。

日本では、確実な生息地は現在までのところ亀岡市、岡山県のごく一部に限られる。アユモドキが繁殖するためには、あまり開発の進んでいない水田環境が不可欠だ。圃場整備や宅地開発、それにブラックバスなどの食害により激減し、どの生息地も予断を許さない状況に置かれている。

【提言】 日本自然保護協会から！

予定地は亀岡駅北側の水田地帯で、一部はアユモドキの繁殖地と重なるため、共生ゾーンを設定して保全を図っていくという。しかし、アユモドキの生活史はほとんど解明されていない。共生ゾーンの効果は未知数で、あくまで亀岡市の希望的目標に過ぎない。十分に科学的検証がなされないまま、建設工事を開始すれば取り返しのつかないことになる。現在の計画は、明らかに建設ありきの姿勢で進められており、共生ゾーンはいわば開発のための免罪符となっている。

【提案】 日本魚類学会からの要請。

「今回のスポーツ施設建設がもたらすアユモドキ個体群絶滅の懸念を深めましたので、再度、当地における本計画の妥当性について、科学的調査と合理的判断に基づき、ゼロベースから再検討いただくことを強く求めます。」

【指導】 環境省からの指導・注意!?

予定地はラムサール条約の候補地であり、水田が失われることを心配している。アユモドキ生息の可能性があるので許容なく埋め立てたり廃液を流すことは違法になる可能性がある。

【指摘】 京都府環境審議会委員より指摘。

魚類学会では、亀岡のアユモドキについて重大な関心をもっているところ。京都府の自然保護に対する姿勢は、たかだか3千5百万円程度と見受けられるが、これがサイレントマジョリティを含めた府民の大多数の意見を反映したものなのか。またスタジアムの建設は、間違いなくアユモドキを絶滅させるもの。これを同じ文化環境部の中で相反する仕事をしている点について如何なものか。アユモドキは全国的な関心事であり、京都府民の環境意識が問われるもの。

→亀岡市は、アユモドキの保全を話し合う環境保全専門家議を立ち上げ。

亀岡市→アユモドキの越冬に懸念な地下水の水位・水質・水脈などをボーリングなどで調査を行う。その費用は、1400万円



亀岡みらいづくり隊かわら版
もっと知りたいスタジアム

4. スタジアム建設地は「遊水地」

(洪水時に一時的に水量を調整するための貯水地)



(日吉ダム)

(亀岡市)

スタジアム用地

※スタジアムを作ると、この「遊水地」機能が損なわれる心配があります。

(保津峡)



(嵐山地域)



用地を埋め立てると、下流域(嵐山など)は氾濫しないか?

かつ、この用地は、【ハザードマップで浸水区域指定】

ハザードマップで浸水危険箇所とされている場所です。過去に浸水をして、その浸水の危険性が除去されていない箇所

保津川が亀岡盆地から抜けるときに、保津峡という水のはけ口が狭くなっている場所を通ります。そのため、その水がすぐにはいけないので、そのはけ口の周辺で、水が溜まります。あそこで、水が溜まることで亀岡の市街地や京都市内への洪水を防いできた歴史があります。

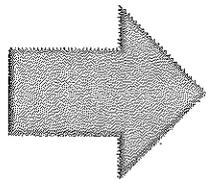
スタジアム予定地にスタジアムが建つということは・・・

少なくとも同等の遊水機能を持つ場所を確保しなければならない、ということです。

その点について、

市長は：「桂川の河床から土を持って来たら大丈夫。」と言われ、

京都府は：「非現実的だ」と言われています。



京都府南丹土木事務所は「スタジアム」を盛り土したら、

下流域(嵐山など)にどのような影響(氾濫)があるか、調査を頼むことに!

→パシフィックコンサルタント株式会社へ約270万円で依頼!

【亀岡市と洪水の歴史】

治水対策では日吉ダムができて安全度が向上したと言われますが、上桂川河道整備事業は第2段階の暫定計画の施行中であり、亀岡市に水害のおそれがなくなったわけではありません。実際に、平成16年の台風23号や昨年7月15日のゲリラ豪雨によって被害が出ています。治水上の安全を保障する具体策は示されていません。

これまでにあった保津川の主な洪水

発生日月	原因	浸水した面積 (ha)	浸水した家屋 (戸)	備考
昭和28年(1953年) 9月	台風13号	690	1,350	
昭和34年(1959年) 8月	台風7号	440	300	
昭和34年(1959年) 9月	台風15号	360	70	
昭和35年(1960年) 8月	台風16号	700	1,400	
昭和36年(1961年) 10月	豪雨	420	250	
昭和40年(1965年) 9月	台風24号	410	200	
昭和47年(1972年) 9月	台風20号	400	180	
昭和57年(1982年) 8月	台風10号	213	23	
昭和58年(1983年) 9月	台風10号	229	64	
平成元年(1989年) 9月	豪雨	200	8	
平成7年(1995年) 5月	豪雨	41	0	
平成16年(2004年) 10月	台風23号	270	7	日吉ダム平成10年4月完成

京都府HPを基に作成

5. 「道路渋滞」 亀岡市の安心・安全は？

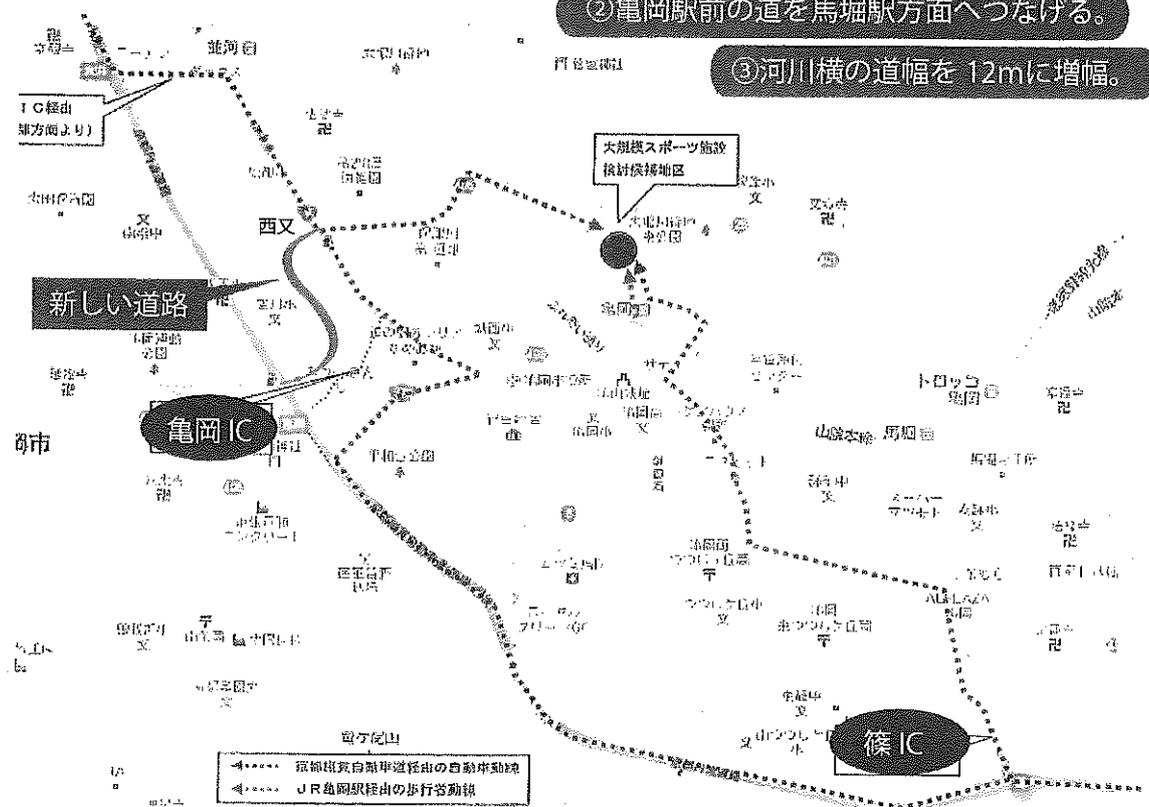
亀岡みらいづくり隊かわら版

もっと知りたいスタジアム

①宇津根橋から、9号線を通らずに、亀岡ICにつながる新しい道

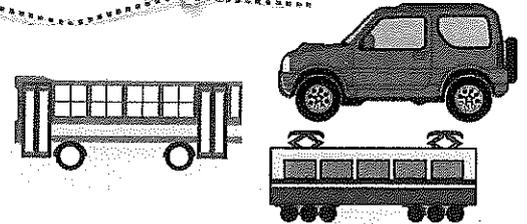
②亀岡駅前の道を馬堀駅方面へつなげる。

③河川横の道幅を12mに増幅。



<交通手段分担率>

- ◆JR (50%) 10,000 人
- ◆自家用車 (25%) 5,000 人 1台あたり3人として、1667台
- ◆団体バス (25%) 5,000 人 1台あたり50人として、100台



■幹線道路の道路交通量

区分	地点	12時間 (台)	24時間 (台)	ピーク時 (台)	ピーク 時間
一般国道9号	亀岡市祿町王子	19,940	28,913	2,231	18時
一般国道478号 (京都丹波道路)	篠IC~亀岡IC間	15,628	19,535	1,610	

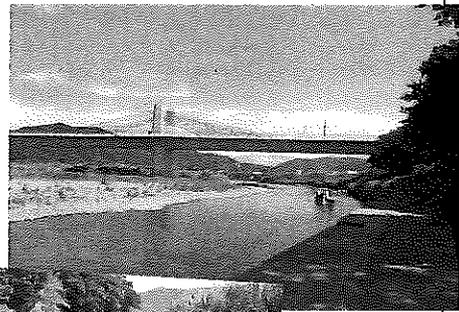
(資料：平成17年度道路交通センサス)

縦貫道ピーク時の交通量の
2倍の自動車があふれる。

→縦貫道がピーク時でも渋滞するのに、さらに、その2倍の交通量。もしも、止まった時には、国道9号線が麻痺するんじゃない？

調査：■大規模スポーツ施設アクセス道路測量設計業務委託 (約890万円)
■市道保津宇津並河線設計業務委託 (約480万円)

6. 「世界遺産」を目指す保津川。



【世界遺産の登録基準】

- (i) 人間の創造的才能を表す傑作である。
- (ii) 建築、科学技術、記念碑、都市計画、景観設計の発展に重要な影響を与えた、ある期間にわたる価値感の交流又はある文化圏内での価値観の交流を示すものである。
- (iii) 現存するか消滅しているかにかかわらず、ある文化的伝統又は文明の存在を伝承する物証として無二の存在（少なくとも希有な存在）である。
- (iv) 歴史上の重要な段階を物語る建築物、その集合体、科学技術の集合体、あるいは景観を代表する顕著な見本である。
- (v) あるひとつの文化（または複数の文化）を特徴づけるような伝統的居住形態若しくは陸上・海上の土地利用形態を代表する顕著な見本である。又は、人類と環境とのふれあいを代表する顕著な見本である（特に不可逆的な変化によりその存続が危ぶまれているもの）
- (vi) 顕著な普遍的価値を有する出来事（行事）、生きた伝統、思想、信仰、芸術的作品、あるいは文学的作品と直接または実質的関連がある（この基準は他の基準とあわせて用いられることが望ましい）。
- (vii) 最上級の自然現象、又は、類まれな自然美・美的価値を有する地域を包含する。
- (viii) 生命進化の記録や、地形形成における重要な進行中の地質学的過程、あるいは重要な地形学的又は自然地理学的特徴といった、地球の歴史の主要な段階を代表する顕著な見本である。
- (ix) 陸上・淡水域・沿岸・海洋の生態系や動植物群集の進化、発展において、重要な進行中の生態学的過程又は生物学的過程を代表する顕著な見本である。
- (x) 学術上又は保全上顕著な普遍的価値を有する絶滅のおそれのある種の生息地など、生物多様性の生息域内保全にとって最も重要な自然の生息地を包含する。

もっと知りたいスタジアム

亀岡みらいづくり隊かわら版

掲げた目標と現実のギャップ？

<亀岡市都市計画審議会での亀岡市景観計画案>

【基本理念】豊かな景観がはぐくむにぎわいと文化が織りなす共生のまち かめおか～京の奥座敷・川下り・京野菜・銚のにあうまちづくり～

【目的】市民・事業者・行政の協働による良好なまちづくり

【目標】市民財産である豊かな緑と保津川をはじめとする清流景観の保全

私たちのまち亀岡市は、四方をなだらかな山々に囲まれ、中央には母なる川・保津川が流れ、また府下有数の穀倉地帯として広大な農地が広がるなど、水と緑が織りなす豊かな自然環境に恵まれています。山林の緑と黄金色にきらめく田園、清らかな水辺で構成する本市の自然景観は、市民にとっても、地域にとっても貴重な財産であり、適切な保全のもとで次世代につたえていくことが大切です。（平成23年5月30日開催）

